

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2017.12.15(木)
No. 235

実態を反映しない不十分な質問で業務改善ができないのか

市教委は「今後の業務改善取組の参考とするため」として、「さいたま市教職員等の勤務に関する意識調査」をすべての教職員を対象に実施しました。

まとめの質問が「教員という仕事にやりがいや満足感を感じている方」にだけ限定し、「やりがいや満足感を感じたのはどんな時か」と聞いて終了することには唖然とします。市教委は業務改善を本気で取り組もうとしているのでしょうか。

「導入」と「廃止」はワンセットに!

「新しいことをやる時は今までやつていたことを一つやめる」

これは組合が先生方に協力いただいた「長時間過労労働態アンケート」に書かれた回答です。

あなたの職場でどんなことが問題になっていますか。」とか「業務改善（負担軽減）についてあなたのお聞かせください。」という質問項目を加えて再度声を聞く

退職金また削減か! 今こそ怒りを結集して改悪を阻止しよう!

緊急情報!



国的人事院は4月、国家公務員の退職金を約80万円も引き下げる勧告を行いました。勧告受けて政府は来年1月1日以降退職する人からこれを適用すると11月17日決定しています。このよ

うな情勢の中、埼玉県も国と同様の実施を検討しています。私たちも過去、2013年から2014年にかけて約400万円の退職金の削減を強要されました。これにより当時の退職者たちは退職時期をめぐつて心ないバッシングを受けたことは記憶にあたらしいところです。埼玉県教組を始め公務員の各組合は共闘を組み、県がこの悪政を実施しないように署名運動や交渉を行っています。さいたま市が同様の実施を行わないよう、各職場で署名のご協力をお願いします。

教員としての生事にやりがいや満足感を感じるのはどうなですか。
「さいたま市教組新聞」の実態を反映しない不十分な質問で業務改善ができないのか

職務に関する意識について、さまざまな公務をそれぞれについて「負担を感じる」「負担を感じない」を4段階に区分しました。

職務に当たってはまらない」と含めて選択します。しかし、この質問では何について負担を感じているかは分析できても、私たち教職員に対して、どんなことに負担（不満）を感じているのか、解決方法はないか、等については分かりません。

なぜ積極的に現場の声を聞くべきと強く願います。市教委は交渉の場で負担軽減策の一つとして「多面化解検討委員会」を設置しました。しかししながらその成果はおろか、時間が増えることなど新規討の途中経過さえ示さ

合)の参加を要求しています。

「きれい」との質問ではなく、話し合いの場にも現場の声を聞ける体制をとり、多忙化解消負担軽減の本気度を示してほしいと思います。

まずは教育委員会内で調整を

指導課（1課、2課）と教職員人事課で足並みをそろえて

せられた声では、教職員の配置を増やすこと、学級の定数を少しでも減らすことがあります。

これらの改善で負担軽減を生み、子どもたちに對してもゆとりをもつた行き届いた教育を営むことが保障されるという理由からです。

行政内の指導課に向けらるべきではないでしょ

うか。教育行政の中で、スクラップ＆ビルトの施策の提案を示すべきです。

教育条件の整備は行政の最大の義務であります。市教委は現場の声を真摯に受け止め、「業務改善」に反映させていただきます。

急がれる未配置解消

(パート②)



市教組は現在代替者の未配置問題についてキャンペーントを行っています。現場の実態は市教組の調査によつても極めて深刻な状況が浮き彫りにされました。

昨年度や本年度の教職員の未配置に関する市教組の調査で、それぞれの職場の実態からも、切実な声が伝わってきます。回答の寄せられた44校の中でも、過半数以上の23校が未配置や校内の調整による強引な配置など問題を抱えています。この割合を市内の162校に適用すると約80校以上の学校で代替の未配置や無理な配置があると考えられます。事実、今年度は産休代替は30人待ちとも言われています。交渉の場で市教委は「全力で取組んでいる」と「責任を感じている」と言葉を繰り返しますが、それに対する具体的な改善策は見えてきません。校長自らが職集で「誰か知り合いでできそうな方はいませんか。」といつ



(馬宮中)

1学期1ヵ月入院した職員の代替無し。
教科教員による授業代行、学年職員による担任副担任業務代行等で乗り切った。

た、悲壮な発言がされるのが常態化しています。これは多忙化した学校の実態ともリンクして、教職員という仕事を代替で就いてみたいものになつていいことの反映では

(各校の声)



未配置の実態の記述は、
今年度と昨年度のものです

理科専科の人が新学期になる前に辞めてまだ代替が来ていない。
(SAが一人来ている。)

病気休暇の代替が来ないので少人数がやつた。
(上落合小)

学校としての対応ですが、みんなで協力したこと。
知り合いを探したこと。
市教委でも探したこと。
が時期的に難しいと思つたので。

病休者がいたが、昨年同様少人数担当者が担任になり約2カ月代行した。

3学期に病休に入った方がいましたが、代替が見つからず、他の職員で仕事を分担しました。

年度当初 少人数と理科が未配置
(与野八幡小)
* * * * *

2学期から2名病気休暇を取つていて。
一人の方の代員は今週になつてようやく来て、もう一人の代員も遅れて來た。

来なかつた。
1ヵ月遅れで1名(支援学級)、2ヵ月遅れで1名(少人数指導)がようやく來た。

2学期から2名病気休暇を取つていて。
一人の方の代員は今週になつてようやく来て、もう一人の代員も遅れて來た。

た(2学期から)(西原小)
が自分のつてで探してき
入つておらず、教務と少
人数の教員が代わりに出
ている状況です。そのた
めに4年生の教員の空き
時間が-1で気の毒です。



(鷺宮等小)

9月よりある先生が休みがちになり病休に入つた
昨年度SAだった方が指導のため配置されるが代員がなかなかなかつた。
最近ようやく配置されたが、成績をどうつけるか
が大変。

(岩槻中)

2名とも代替は初日には

病休の代員を結局は校長

4月当初の未配置はあり
ませんでしたが、現在病

第2回 代議員会

2月2日(金)
18:15~

浦和コミセン
第13集会室

職場の状況を交流し
3学期の活動を話し合
います。

代議員の方ご予定ください

ボーナスカンパにご協力ください

働きやすい職場づくりをめざします

カンパは市教組新聞発行などの活動資金に活用しています